

経営一転語 35 社長の仕事とは

社長は、時間を創造しなくてははいけません。時間を創造するためには、社員ができる仕事は社員に任せることです。そして、自らは、未来を考える仕事、高度な仕事、付加価値が高い仕事、難易度が高い仕事、例外的な仕事をする事です。時間を生み出して、さぼってはいけません。

図表をイメージしていただきたいのですが、縦軸に緊急度が高い、低い、横軸に重要度が高い、低いという4つのマスで構成されるマトリックスを作ったとしたら、社長は、緊急度は低いけれども、重要度が高い仕事のマスの仕事をしなくてははいけません。ここの部分の仕事というのは、緊急度が低いために、誰も手を付けていない、手を付けづらい仕事であるのです。

それでは、そのマスに入る社長がしなくてはいけない仕事とは何でしょうか。それは、次の7つの仕事があると思います。ここを押さえれば、ポイントを押さえた経営ができるのです。

1. 外に出て、顧客を訪問し、お客様の要求（ニーズやウォンツ）を知ること、競合他社の情報を手に入れること。
2. 我が社の方向付けをして、これを明文化（経営計画書づくり）して、社内に徹底させること。
3. プロジェクト計画書の作成や重要な活動の基準を決めること。
4. 計画書や指令（指令は文書でした方がよい）のチェックをすること。
5. クレームの処理をすること、または処置を指示すること。
6. 人事を決めること。
7. 資金調達をすること。

この仕事を重点的に行い、あとは社員に任せて、例外処理のみ、社長が実行すれば、時間はかなり生み出せるのです。

<演習課題>

1. 自分がしなくてもよい仕事をしていないか、自分の仕事を書き出して、チェックしてみましよう